

登録番号 第 21260 号

スタークルメイト®液剤 10

特長：	● 水稻のカメムシ類・ウンカ類・ヨコバイ類に優れた防除効果を示します。 ● 斑点米抑制効果に優れる薬剤です。 ● 無人航空機・空中散布にも使用できます。 ● だいず・えだまめの害虫防除にも使用できます。
-----	--

スタークルメイトは三井化学クロップ&ライフソリューション(株)の登録商標です。

有効成分	ジノテフラン（化管法第 1 種）・・・10.0%	包装	500ml×20 10L×2
性状	淡黄色澄明水溶性液体	有効年限	4 年
毒性	普通物※	危険物	－

※普通物：「毒物及び劇物取締法」（厚生労働省）に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

【適用害虫及び使用方法】2021 年 12 月 22 日付内容

作物名	適用場所	適用病虫害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
稲	－	ウンカ類 ツマグロヨコバイ カメシ類	1000 倍	60～150 L/10a	収穫 7 日 前 まで	3 回 以内	散布	4 回以内 (育苗箱への処理及び 側条施用は 合計 1 回以内、 本田での散布、 空中散布、 無人航空機散布は 合計 3 回以内)
		ウンカ類 カメシ類	300 倍	25L/10a			無人航空機 による散布	
		ウンカ類 カメシ類	8 倍	0.8L/10a				
		ウンカ類 ツマグロヨコバイ	16 倍	1.6L/10a				
		ウンカ類	30 倍	3L/10a			空中散布	
		カメシ類	8 倍	0.8L/10a				
		ウンカ類 カメシ類	30 倍	3L/10a				
だいこん	－	アブラムシ類	8～16 倍	1.6L/10a	収穫 7 日 前 まで	2 回 以内	無人航空機 による散布	5 回以内 (は種時の播溝土壌混和 は 1 回以内、 は種時の全面土壌混和 は 1 回以内、 粒剤の散布は 1 回以内、 水溶剤の散布、液剤の 散布及び無人航空機散 布は合計 2 回以内)

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
キャベツ	—	アブラムシ類	8～16 倍	1.6L/10a	収穫 3 日前まで	2 回以内	無人航空機による散布	3 回以内 (育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び灌注は合計 1 回以内、散布及び無人航空機散布は合計 2 回以内)
ブロッコリー	—	アブラムシ類	8～16 倍	1.6L/10a	収穫 3 日前まで	2 回以内	無人航空機による散布	3 回以内 (定植時の土壌混和及び灌注は合計 1 回以内、散布及び無人航空機散布は合計 2 回以内)
ねぎ	—	アザミウマ類	10～16 倍	1.6L/10a	収穫 3 日前まで	2 回以内	無人航空機による散布	4 回以内 (は種時の土壌混和、育苗トレイへの灌注及び定植時の株元散布は合計 1 回以内、生育期の株元灌注は 1 回以内、散布、無人航空機散布及び定植後の株元散布は合計 2 回以内)
さとうきび	—	カンショコバネカガミシイコ類	1000 倍	100～300 L/10a	収穫 7 日前まで	3 回以内	散布	5 回以内 (粒剤は 2 回以内、液剤、水溶剤及び水和剤は合計 3 回以内)
		カンショコバネカガミシイコ類	14 倍	2.4L/10a			無人航空機による散布	
だいず	—	カメシ類 フタズビヒメムシ ダイズサヤマバエ	1000 倍	100～300 L/10a	収穫 7 日前まで	2 回以内	散布	3 回以内 (は種時の土壌混和は 1 回以内、散布、空中散布、無人航空機散布は合計 2 回以内)
		カメシ類 ダイズサヤマバエ フタズビヒメムシ	8 倍	0.8L/10a			無人航空機による散布	
		カメシ類 ダイズサヤマバエ フタズビヒメムシ					空中散布	
えだまめ	—	カメシ類 フタズビヒメムシ ダイズサヤマバエ	1000 倍	100～300 L/10a	収穫 7 日前まで	2 回以内	散布	3 回以内 (は種時の土壌混和は 1 回以内、散布、空中散布、無人航空機散布は合計 2 回以内)
		カメシ類 ダイズサヤマバエ フタズビヒメムシ	8 倍	0.8L/10a			無人航空機による散布	
		カメシ類 ダイズサヤマバエ フタズビヒメムシ					空中散布	

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
らっきょう	-	アザミヤ類 ハモグリバエ類	8 倍	1.6L/10a	収穫前日まで	3 回以内	無人航空機による散布	3 回以内
いね科牧草	-	アブラムシ類	1000 倍	100～300 L/10a	収穫 7 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内
水田作物、畑作物(休耕田)	シ、ギ、ス、セ、セ、カ、ワ、チ、ソ等の多年生雑草が優占している休耕田	カミシ類	1000 倍	60～150 L/10a	-	3 回以内	散布	3 回以内

使用上の注意事項

- (1) 使用量にあわせ薬液を調製し、使いきること。
- (2) 本剤を空中散布及び無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意を守ること。
 - 1) 散布は各散布機種種の散布基準に従って実施すること。
 - 2) 散布にあつては、散布機種種に適合した散布装置を使用すること。
 - 3) 散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
 - 4) 散布薬液の飛散によって動植物及び自動車やカーポートタンの塗装等へ影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意すること。
 - 5) 作業終了後は次の事項を守ること。
 - (a) 使用後の空の容器は放置せず、適切に処理すること。
 - (b) 機体散布装置は十分洗浄し薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。
- (3) 本剤を希釈倍数 300 倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用すること。
- (4) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- (5) ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - 1) ミツバチ等の巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
 - 2) 関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- (6) 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法

本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗すること。

水産動植物に有毒な農薬については、その旨

- (1) 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- (2) 空中散布又は無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意すること。
- (3) 散布後は水管理に注意すること。
- (4) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨-----
通常の使用方法ではその該当がない。

貯蔵上の注意事項-----
直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温な場所に密栓して保管すること。